



過労退魔師はもうそろそろ限界です

～なんだかんだ生き残って来たけど今度こそもう無理かも…～

基本CG 9枚

本編 56枚
セリフ無 59枚



私は兼業退魔師、東雲 薫…

以前は退魔師一本で生活していたけど…妖魔に囚われ弄ばれているところを救出され何とか洗脳や精神崩壊もせず生き延びることができた。

しかし、その時の影響で体内に妖気が廻るようになってしまい
異常に胸が発達……大きくなったり
服が軽く擦れるだけでイッてしまったり性欲が…などなど……
とにかく日常生活にも支障がでる身体になってしまった。

これ以上身体に悪影響のある体内の妖気を抑えるため、性欲や感度を抑えるために
専用のお札を身体に貼り付けているが…消耗品だし、とにかく高い……

退魔師としての仕事だけでは食べていくこともできなくなってしまうため
一般の仕事に就いたものの…休みが無くなった……

遅くまで働いて、妖魔退治までして……ようやく明日は久しぶりの休み…

フニ…

はー！

フニ…

だめだ…疲れすぎて頭がぼーっとする……





フラフラと歩いていると
今一番聞きたくない音が聞こえてくる...

はえ.....

とにかく早く帰って.....え.....？

あ……退魔師協会……
また妖魔が出たみたい……

ooooo

ooooo

私にかかって来るってことは
やはり人手がたりないか……



ああ…嫌だ…出たくない……
でも無視するわけにはいかないし……

はぁ~~~~~

~~~~~

無視してしまえばどこかで誰かが  
私みたいな目に合うかもしれない……  
はぁ……しかたないなあ……





どうも...どうも...どうも...  
どうも...どうも...どうも...

どうも...どうも...どうも...  
どうも...どうも...どうも...





近くまで帰ってきていた私は  
すぐに着替え妖魔が現れた現場へ向かう





どんだけいるのよ！

あーもうっ！

まったく！残業で疲れ果ててるのにこいつらはワラワラと……！



大量の妖魔を祓ったからか辺りが生臭くて鼻がおかしくなってる…

はー…?

はー…?

いいなくなった?

なんだか気配を感じる気がするけど疲労からか集中できない…  
いったい何処に……?





あ…まず……眠気のせいで  
意識が…

フム…

あ…！







生暖かくヌルヌルしたものかいつの間にか脚に絡みついて  
あの時の感覚を思い出して鳥肌が立つ

ひっ!!  
いつの間だった??

雑魚の癖に強い力で身体を引っ張られ体勢を崩してしまい  
上手く力が込められない!!

ズ  
ズ  
ズ  
ズ  
ズ

ぐ  
いっ





ボロボロになりながら必死に抵抗するも  
大量の触手になすすべも無く吊り上げられてしまう…



また…  
こんな……

ん  
ん  
ん

ギッ  
ギッ

ギッ  
ギッ



う…で、出た……獲物を捕まえたら  
妖魔は真っ先に性器を突き出してくる…

又ル…

でも…今回は大丈夫なはず…!!  
あんなに高いおれを用意したんだ!  
妖魔の侵入も阻止してくれるはず…!!





だ、大丈夫だよね...?  
何も起こらないんだけど...っ?

クニッ...

う...  
嘘...

うう...専門の所で買ったから  
本物のはずなんだけど....







よ、よかった……ちゃんと効果あった……  
焦らせないでよ……！

ふ、ふふん  
どうだ！

明るくなるまで時間を稼げれば  
こいつらも弱体化するはず……っ！  
それなら霊力も回復して脱出もできる！



諦めの悪い触手がどんどん近づいてくる…  
こうして見てみると気持ち悪くて顔が  
ひきつってしまう

ふふふ…  
ふふふ…  
無駄無駄…!

このおれがあれば  
お前らは何にも出来なから!

ヌル…

ニャル…

ニャル…







グ  
ッ  
ッ  
ッ  
ッ

ぎゃあ？！

痺れを切らしたのか急に身体を持ち上げられ  
逆さ吊りにされてしまう

ちよっとッ?  
いい加減諦めなさいよ!

く...

く...





私に絡みつく触手に声を上げていたら  
背後からズルズルと何かが這いずってくる音が聞こえてくる  
大きくおどましい気配に背筋に悪寒が走る

ズル...

え...?!



巨大な妖魔が大きく口を開き私を食べようと迫ってくる  
食べられてしまえばさすがに協力なお札の効果も意味をなさないかもしれない…  
あまりの恐怖にみっともなく悲鳴を上げてしまう……









いやああ——っ!?  
こんなっ、妖魔に食べられて死にたくないっ!?

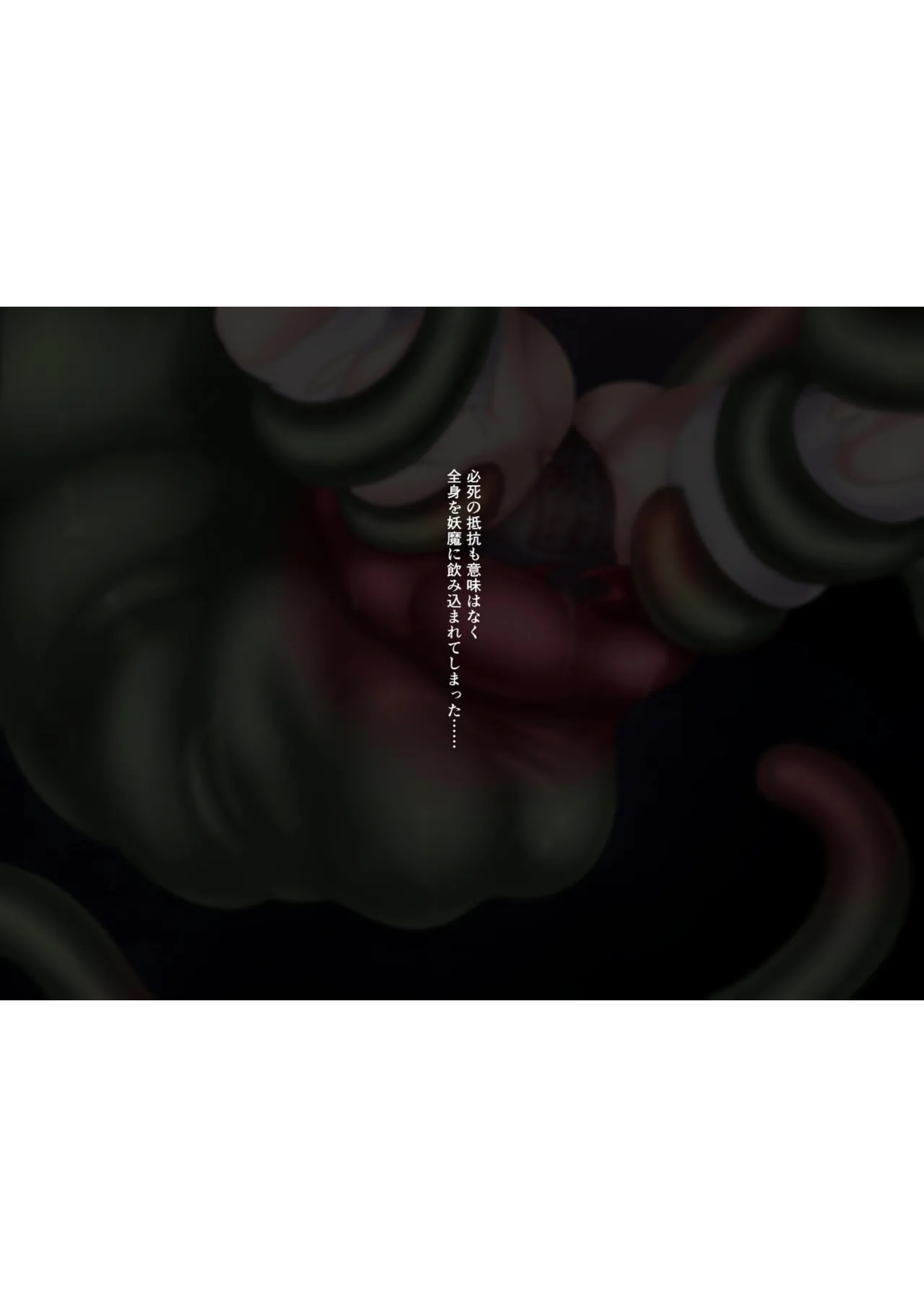
必死に藻掻いても身体はどんどん飲み込まれていく…

ぐちゃ!!

ぐちゃ!!

ぐちゃ!!





必死の抵抗も意味はなく  
全身を妖魔に飲み込まれてしまった……



ううう……完全に飲み込まれて…  
ぐ……臭い……狭い……

なんとか身体を動かしても肉壁の動きとヌルヌルと滑る  
粘液のせいでどんどん奥に送られてしまった…







何とかしようと藻掻いていると  
じわじわと服が溶けて行っているのに気づいてしまった…

なッ  
ふ、服が…ッ!?

ぬる…

ぬる…

いや…こ、こんな所で妖魔の餌にされて死に方は嫌だっ！





少しパニックになりながら脱出のために霊力を使おうとするも  
どういうわけかこの中では上手く使えない…

はぁ…

はぁ…

ちゅっ！  
このっ、このっ！

なんでっ、  
力が入らないのっ…!!



はあ…はあ…ついに服が全部溶けてしまった…  
それにお札まで耐えられず灰になっていったる…

しかし、どうにも身体が解かされているような感覚はない…？  
これは…どういこと…？





はぁ……

ふうー！

はぁ……

ついにお札まで無くなってしまい完全に裸に……  
どうやら身体の方は解かされないようだけど……

う……だんだん力が入らなくなってきた……  
動けなくなる前にこの状況をどうにかしないと……







はぁ……♡

ん……♡  
はぁ……♡

ヌルッ

ヌルッ

じゅ……

はぁ……はぁ……♡感度や性欲も抑えてくれていたお礼が  
無くなったせいで身体中が疼き出して……

温かい肉壁や触手の愛撫でゾクゾクとした快感が  
身体中を駆け巡って力が抜けていく……



な、何ッ!?

少し気を逸らしていたら急に脚が  
肉壁に飲み込まれて…っ!!

ひい…!!  
ウネウネしてて脚がどんどん吸い込まれて  
引っ張られるっ!!

く"ぽ、  
く"ぽ、







あ...♡

だめ...♡  
なの...♡

触手チンポが近づいて来ただけで  
ウズウズが止まらなくなっちゃう...♡

あ...ああ...や、やっぱり...  
はあ...♡はあ...♡...くう...身体が勝手に反応しちゃって...

ず...♡

じ...♡

じ...♡

じ...♡





く、来る……♡だめなのに……身体が覚えてるから……♡  
触れられただけでトロトロになっちゃう……♡

ぷちゅ♡

とろ

ぐんぐん



ああ...もう...  
じ、焦らな...  
♡

はぁ...♡

はぁ...♡

は、早く...入れてよお...♡

おれの効力を失った今  
私はただ快楽だけを求める  
メス豚に成り下がってしまう...♡

先端だけが出たり入ったり...軽く焦らされただけで  
あっさり私の理性は崩壊していく...

くほ♡

くほ♡

くちゅ♡







おしりも同時に入れられて…  
いい意識が……♡

↑……♡

ハ……♡

やば……♡

や、や……やばあ……♡  
自分でするより何倍も気持ちいい……♡♡





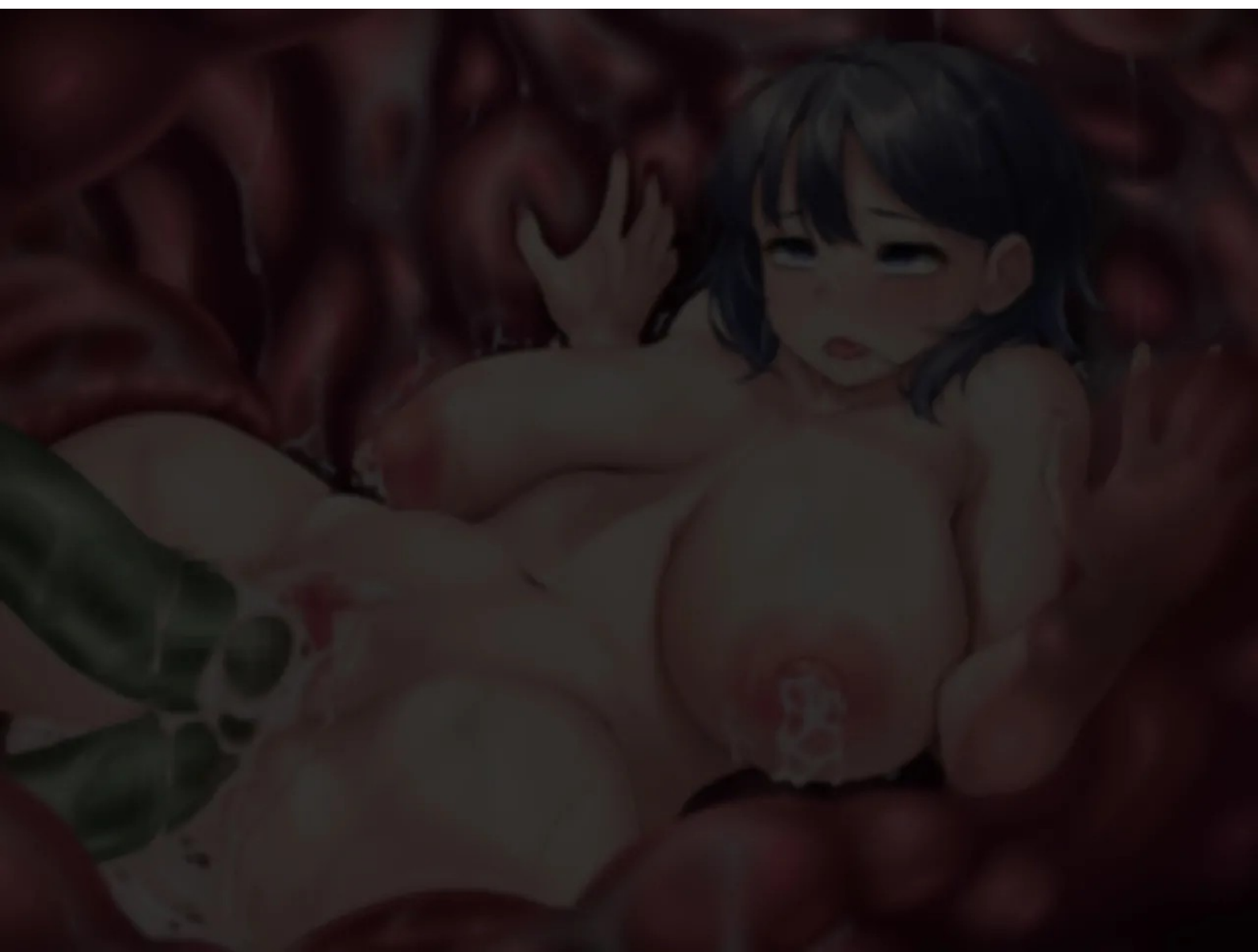


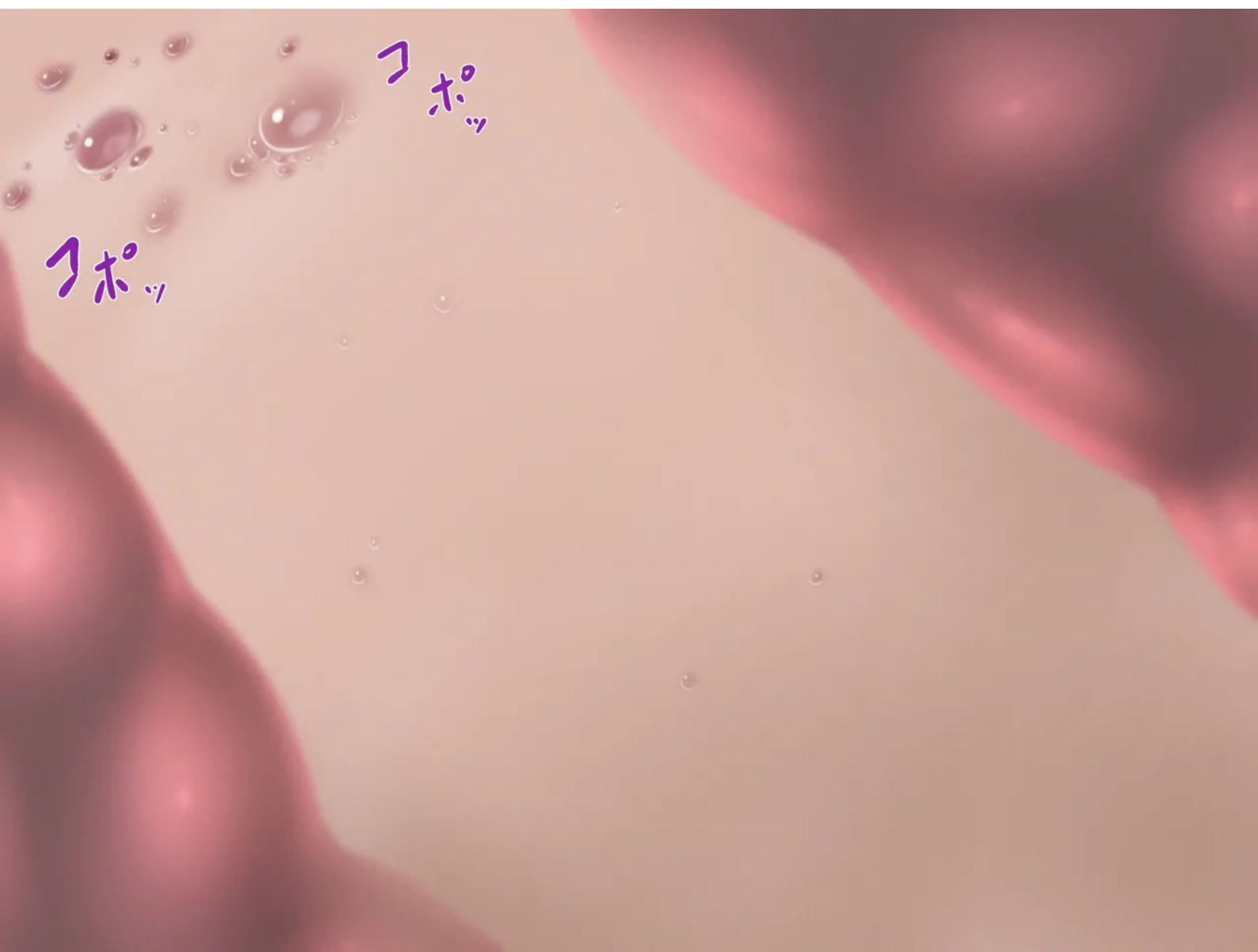
















……あったかい……気持ち……いい……♡  
……真っ白になっちゃう……♡♡

んー  
んー  
んー  
んー

んー  
んー  
んー



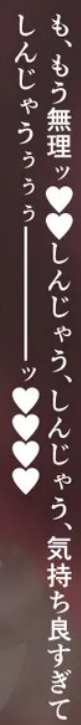






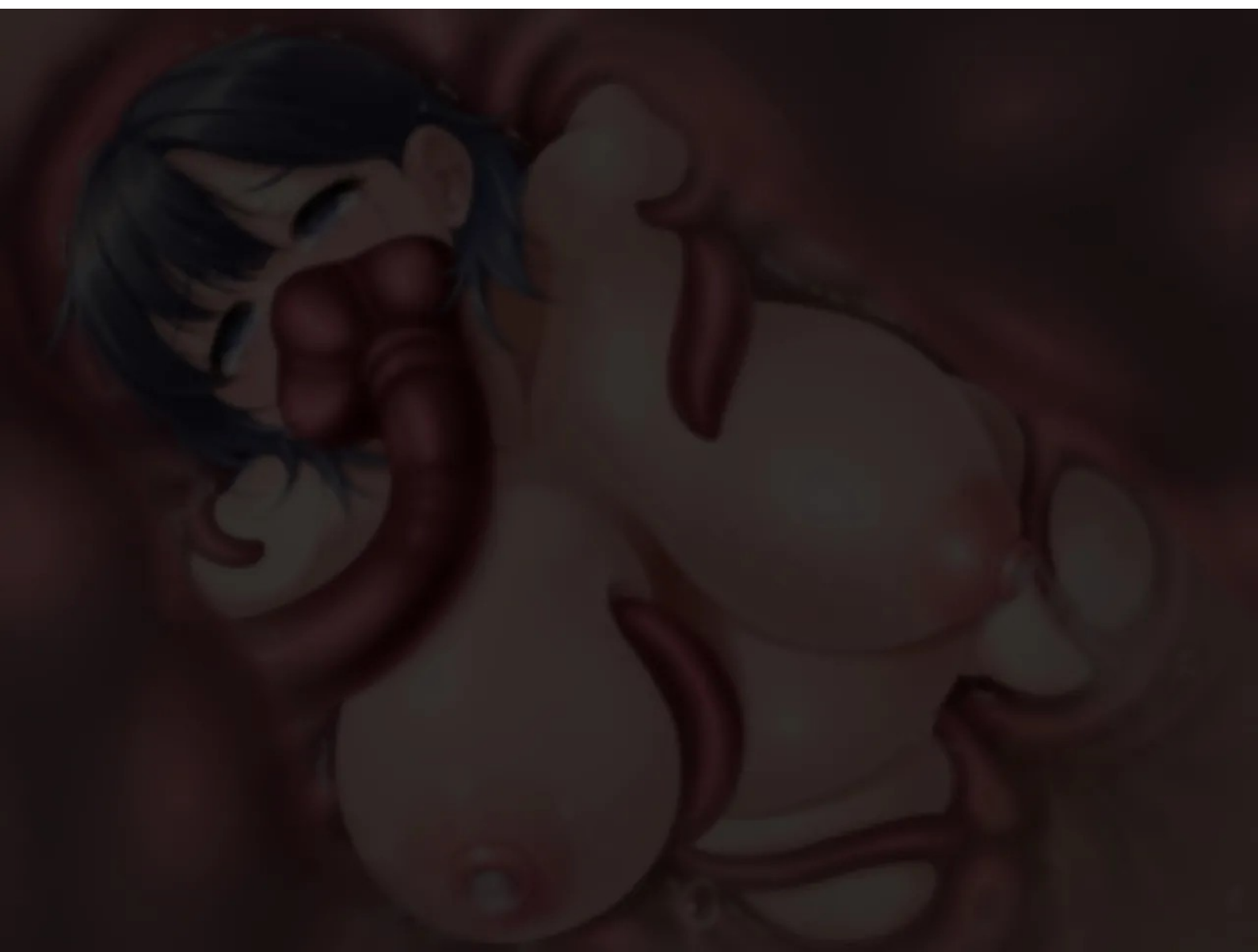
あがッ♥♥♥!?おっぱい♥♥♥中でッ、何か暴れてるッ♥♥♥!?  
ひっ、あッ、ぎひいい♥♥♥ぎもぢいひっ♥♥♥ごわれぢやうううッ♥♥♥!?

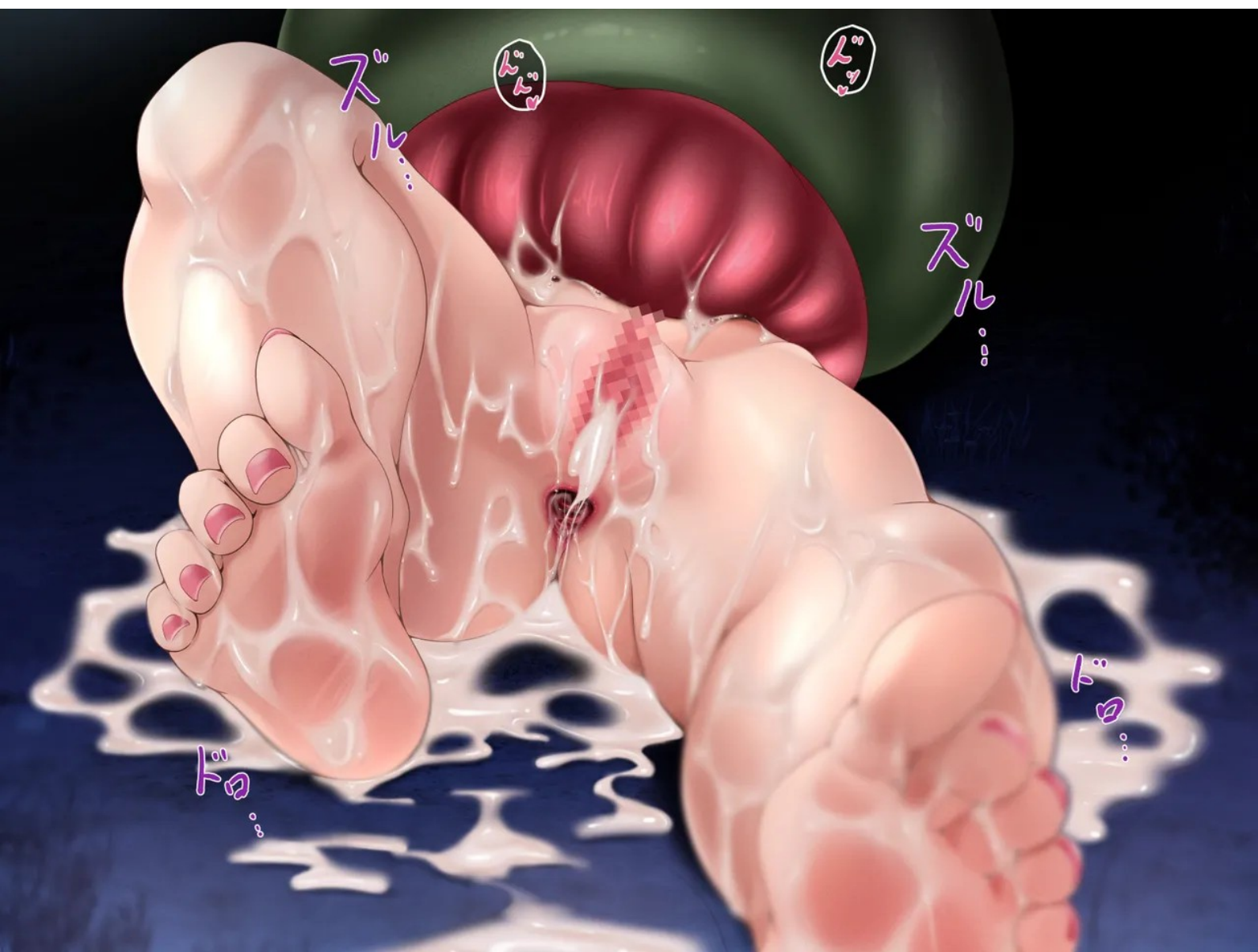












ズル...

んんん

んんん

ズル...

ドッ...

ドッ...











……外……？戻ってきた……？

はー！

はー！

あえ？

……？あ……え……？  
わたし……あえ……？

なに…これ……? お腹…見たこともないくらい…膨らんで…  
そっか…孕まされ…ちゃったんだ……

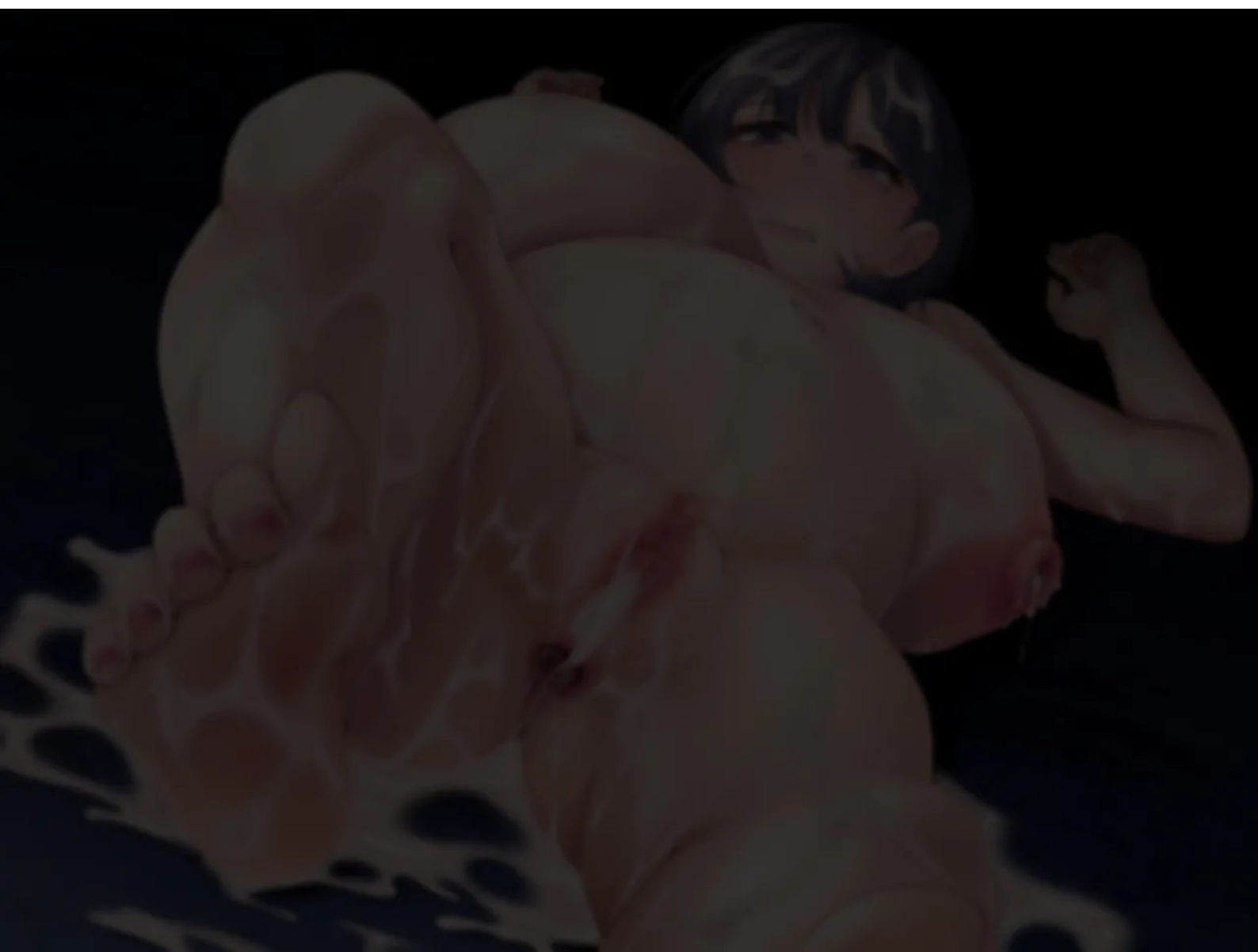
あ…ほ…?

あ…ほ…?

だめ……力が……入らない……  
また意識が……





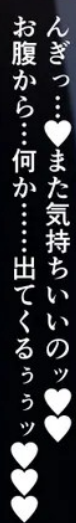


はあ……はあ……いつの間にか…明るくなってきた……  
か、帰らないと……今日も……仕事……



で、でも……お腹の中…何か動いて……ッ!?









は——♡は——♡  
き、気持ちよかった……こんな……大きいのが……産まれちゃった……♡♡

は、早く潰さなきゃ……いけないのに……  
愛おしくて……む……無理だよ……♡♡





もう…仕事なんてやめて…この子と…  
一緒に…♡♡♡